

福井県ドクターヘリ運航業務提案書作成要領

貴社の提案が仕様書の水準と比べてどの水準なのか理解しやすいように、簡潔で分かりやすい表現で記載すること。なお、共同事業体で企画提案審査会に参加しようとする場合、代表法人および構成員の役割を明確に示したうえで、下記項目を作成すること。

1 ドクターヘリの仕様等

(1) 専用機の騒音性能

市街地近郊での離着陸を想定し、騒音性能が良い機体を提案すること。
離着陸および水平時の機外騒音値（ICAO 基準）を記載すること。

(2) 専用機の機内空間

搭乗人員、キャビンスペースの広さ、傷病者の乗降方法等を記載すること。

(3) 機体装備品・搭載医療機器用の内装

仕様書に掲げる以上の性能を有する装備品や内装について記載すること。

(4) その他

専用機の巡航速度・航続距離・航続時間。代替機の機種および使用予定頻度。新型機の調達見込みの有無と機種。その他アピールポイントを記載すること。

2 ドクターヘリの運航体制

(1) 操縦士、整備士および運航管理担当者の確保策ならびにそれら運航従事者の代替要員等の支援体制

本業務を安全で効果的、継続的な運用を図るために必要な技能、経験、資格、代替要員等の支援体制等を提案すること。

また、当該機種のライセンス保持者一覧表を添付し、操縦士としての実務経験実績等（ヘリコプター総飛行時間数、専用機種種の飛行時間等）を、整備士にあつては有資格航空整備士としての実務経験年数、専用機種または同等以上の航空機を含む整備実務経験年数を、運航管理担当者にあつては、運航管理担当者としての実務経験年数等を示すこと。

(2) 定期整備の体制および日常的な衛生管理、専用機に不測の事態（事故等）が生じた場合の対応

整備体制、衛生管理体制、1日の業務スケジュール等分かりやすく提案すること。

午前8時時点で専用機に不具合が発見された場合の運航開始見込み時間、基地病院屋上ヘリポートで不具合が生じた場合の対応等について提案すること。

(3) 社内の運航管理、安全管理体制、教育体制の内容

現行体制を提示し、本業務に対する安全かつ安定な運航を行うドクターヘリについて説明すること。また、搭乗スタッフ（操縦士・整備士・運航管理担当者）の安全教育体制と継続的な確保体制および医療スタッフ（ドクターヘリ搭乗医師・看護師）に対する安全教育体制とその内容についても説明すること。

3 ドクターヘリその他航空事業の運航実績

(1) 他県におけるドクターヘリ運航業務受託の状況、受託件数および年間の総飛行回数を示すこと。

(2) 過去3年間の資産、負債・資本および経常利益

過去3か年の経営状況を示すこと。共同事業体においては、構成員ごとに作成すること。

(3) 過去3年間の事故および重大インシデント

他県のドクターヘリ受託業務において、過去3年間の事故等の発生件数、死傷者数（死亡、重症、軽傷）を示すこと。

4 ドクターヘリの理解促進

(1) 普及啓発活動

ドクターヘリの運航に対する理解促進や啓発に向けて、どのような活動や協力ができるのか具体的に記載すること。

(2) 運用面での騒音対策

近隣住民配慮した運用面での騒音対策や調査として具体的に対応できることを記載すること。

6 経費

各年度の委託予定額264,937千円※（消費税および地方消費税を含む。）を上限として、業務に関する費用の概算額およびその内訳を詳細に記載すること。（※ドクターヘリ導入促進事業補助基準額飛行時間200時間未満）

7 提案書作成上の留意事項

(1) 提案書の様式は自由とするが、A4縦長横書き両面印刷とし、日本語で

表記すること。

- (2) 提案書1部（正本）には記名・押印し、押印しない提案書10部（副本）とともに提出すること。（添付資料を含む。）
- (3) 審査員が漏れなく正確に評価できるよう編集に配慮すること。
- (4) 貴社の提案が理解しやすいように、簡潔で分かりやすい表現で記述するとともに、提案書は全体で20ページ以内で記載すること。
- (5) 例示した項目以外に貴社独自の提案がある場合は、積極的に記載すること。その場合、各項目の「その他」の欄に記載すること。